

令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト
(スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

障害のある人もない人も、すべての人に水泳と健康を！
『インクルーシブ“共泳”教室』

令和5年2月28日

セントラルスポーツ株式会社



令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

【事業報告①:事業の全体概要】

代表団体名: セントラルスポーツ株式会社

事業タイトル: 障害のある人もない人も、すべての人に水泳と健康を！
『インクルーシブ“共泳”教室』



構成団体	順天堂大学スポーツ健康科学部 千葉市市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課 (公財)千葉市スポーツ協会ちばしパラスポーツコンシェルジュ
事業のターゲット	①子供・若者 ②働く世代・子育て世代 ⑤障害者
実施フィールド (地域)	千葉市内(セントラルスポーツ株式会社2店舗のプールで開催)

事業内容サマリ	<p>①: インクルーシブ水泳教室の運営および指導ガイドライン作成</p> <p>②: ガイドラインに基づいた指導者研修の実施</p> <p>③: 知的障害のある児童を対象としたパラ水泳教室の開催</p> <p>④: 水泳教室参加者および保護者への調査実施</p>
---------	--

事業ターゲット

■本事業のターゲット像

①子供・若者

- 知的・身体など、何らかの障害がある幼児・児童(性別の区別なし)
- 本モデル事業においては、千葉市内に在住の方を対象とする。

②働く世代・子育て世代

- 上記①のお子様を持つ保護者様(父母・祖父母)
- お子様と一緒に水泳教室に参加し、自身のSport in Lifeにつなげる。

⑤障害者

- 知的・身体など、何らかの障害がある幼児・児童(性別の区別なし)
- 本モデル事業においては、千葉市内に在住の方を対象とする。

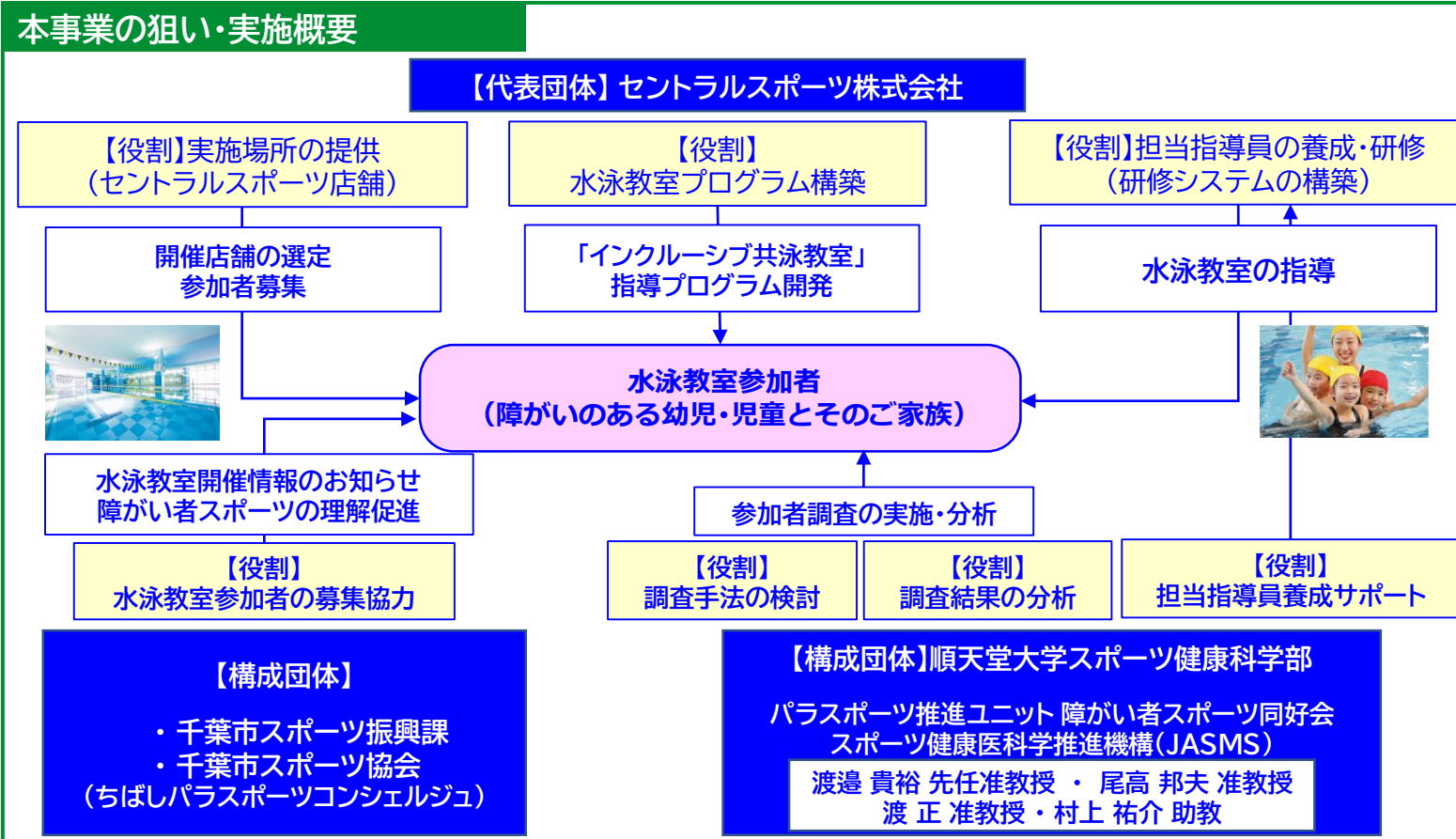
■ターゲットのスポーツ実施を促すためのポイント

ターゲットの阻害要因

- 障害のある幼児・児童が、水泳教室参加を希望しても、体系的・組織的に障害児を対象とした水泳教室を実施している場所が少ない。
- 水泳教室の運営団体や指導者が、障害の特性に関する知識を十分に有していない。
- 多くの民間スイミングスクールが採用する「段階指導(進級システム)」は、障害児にとっては課題のクリアが難しく、進級の停滞等が子供の満足度や自己肯定感の低下を招く可能性がある。

ターゲットのスポーツ実施を促すポイント

- 障害者スポーツの知識を有する指導者による教室運営
- 従来の水泳指導にとらわれず、水中での「遊び」を通じて様々な動作を体験することに主眼を置いたプログラム
- 泳ぐ距離やフォームの評価だけでなく、水中でできなかったことができるようになったことを評価することによる自己肯定感の向上



事業実施内容

1. 【フェーズ1】水泳教室開催準備 (2022年8月～9月)

① 教室内容の検討

- 「障害の種別や障害の有無に関わらず参加できる水泳教室」のカリキュラム検討を重ね、障害者当事者や有識者からのアドバイスを反映させ、知的障害がある児童・生徒を対象とした「パラ水泳はじめて水泳教室」としての開催を決定。
- 教室運営ノウハウの蓄積(運営ガイドラインの策定)と、はじめて水泳教室参加者が継続して参加できる教室の立ち上げを本事業期間のゴールとし、「障害の種別や障害の有無に関わらず参加できる水泳教室(インクルーシブ共泳教室)」の開催を継続して検討することとした。

② 「パラ水泳 はじめて水泳教室」プログラム構築

- 全8回の教室のプログラム構築
- 指導者研修内容の検討

③ 「パラ水泳 はじめて水泳教室」開催準備

- 実施店舗の選定および開催日時などの検討
- 担当指導者(コーチ)の選抜
- 告知物の制作
- 参加者の募集準備

④ 教室参加者への調査設計

- 調査方法の検討
- 調査担当スタッフの手配



無料 体験内容

パラ水泳 はじめて水泳 体験教室

スポーツ庁 令和4年度 Sport in Life推進プロジェクト (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

日程 **10/23・30、11/6・13・20・27、12/4・11**
各日曜日開催

時間 17:00～18:00 / 定員10名様

対象 知的障がい児童
※保護者同伴をお願いします。(入水、またはプールサイド見学)

場所 セントラルフィットネスクラブ 稲毛海岸店
千葉県千葉市美浜区高州3-23-2稲毛海岸ビル3F
【アクセス】JR京葉線 稲毛海岸駅 南口徒歩1分

持ち物 水着・帽子・ゴーグル・タオル
※水着はラッシュガード(薄手・上着)もご利用いただけますが、動きにくくなります。
※水温32.5度、水道30.5度～31.5度に設定されています。

体験内容 「水泳が初めて」「泳ぐのが苦手」など、初心者向け内容です。

目標 水になれる 楽しくからだを動かす クロール10～25M

会場 **セントラルフィットネスクラブ 稲毛海岸店**

問合せ ☎ 03-5543-1858 セントラルスポーツ新規事業開発部 (担当:平山)
✉ shinki-zoom@central.co.jp

協力 **ちばしパラスポーツコンシェルジュ**
千葉ポートアリーナ3階(中央区船橋1-20) 【開設日時】
☎ 043-312-0605 火曜日～日曜日 9:00～17:00
※休日、年末年始を除く



事業実施内容

2.【フェーズ2】水泳教室開催(2022年10月~12月)

①「パラ水泳 はじめて水泳教室」の概要

- 《開催場所》 セントラルウェルネスクラブ長沼(毎週日曜日 15:00~16:00)
セントラルフィットネスクラブ稲毛海岸(毎週日曜日 17:00~18:00)
《開催日》 2022年10/23・30・11/6・13・20・27・12/4・11(全8回)
《参加人数》 長沼店 全12名
稲毛海岸店 全10名

②「パラ水泳 はじめて水泳教室」プログラム構築

- ・全8回の教室のプログラム(指導ガイドライン)決定

③「パラ水泳 はじめて水泳教室」開催準備

- ・参加者募集 ※【事業報告③:広報展開(募集・事業周知)】で詳述
- ・参加希望者の対応
- ・担当指導者(コーチ)の決定および指導者研修の実施

④ 教室参加者への調査実施

- ・調査準備(調査担当スタッフ用実施要項作成など)
- ・初回教室開催時および最終回開催時に、参加者本人および保護者へのインタビュー調査を実施
- ・担当指導者への調査実施(指導者用フィールドノートの記載)
- ・教室実施風景の記録撮影(プールサイドおよび入水する指導員が装着したカメラによる撮影)

⑤ 教室運営

- ・参加児童生徒および保護者との積極的なコミュニケーション
- ・欠席者および体調不良者へのアフターフォロー(翌日以降の電話掛けを適宜実施)
- ・全8回の教室終了後の継続開催(有料教室)の開催準備 ※教室参加者へのご案内
- ・全8回の教室最終回に、全受講者に「受講認定証」を配布(参加者の自己肯定感の向上施策)



令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト
 (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)
 【事業報告②:実施内容】

代表団体名: セントラルスポーツ株式会社

事業タイトル: 障害のある人もない人も、すべての人に水泳と健康を！
 『インクルーシブ“共泳”教室』

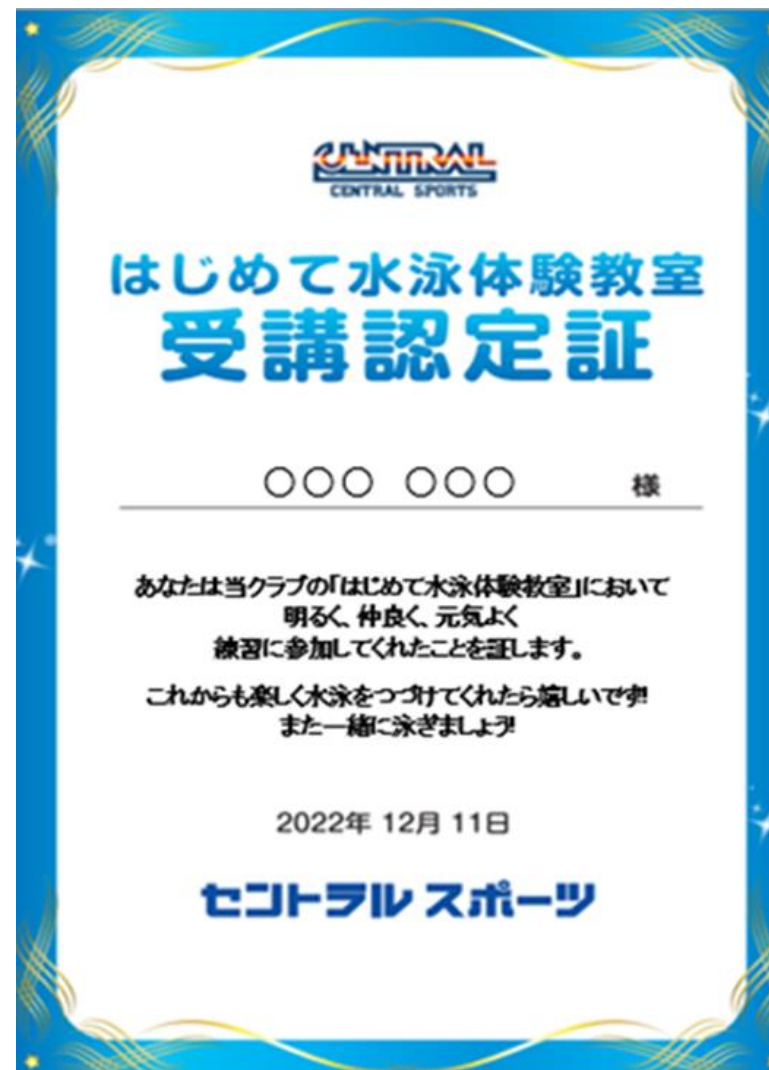


事業実施内容

(参考) パラ水泳はじめて水泳教室 運営タイムテーブル

	長沼店 (11名)		稲毛海岸店 (10名)	
	運営	調査	運営	調査
14:00	スタッフ集合 ※準備・来館者対応			
14:20	指導担当者ミーティング ※練習内容・役割分担の確認	【初日/最終日】インタビュー ※来館した方から随時実施		
14:30	参加者 入館開始 ※着替え			
14:55	プールサイド集合			
15:00	水泳教室スタート ↓ ※榎本・平山 移動 ↓		15:00 15:10 ※榎本・平山 移動 ↓	
16:00	水泳教室終了 ※着替え		16:00	スタッフ集合 ※準備・来館者対応
			16:20	指導担当者ミーティング ※練習内容・役割分担の確認
16:30	参加者 退館 (お見送り) 終了ミーティング	終了ミーティング ※指導員へのインタビュー等	16:30	参加者 入館開始 ※着替え
17:00	終了		16:55	プールサイド集合
			17:00	水泳教室スタート ↓ ↓
			18:00	水泳教室終了 ※着替え
			18:30	参加者 退館 (お見送り)
				終了ミーティング ※指導員へのインタビュー等
			19:00	終了

(参考) パラ水泳はじめて水泳教室 受講認定証



事業実施内容

3.【フェーズ3】効果検証・プログラム内容の改善・継続開催による事業化(2023年1月~2月)

①「パラ水泳 はじめて水泳教室」の効果検証(※【事業報告④:効果検証・分析】に詳述)

②「パラ水泳 はじめて水泳教室」プログラム改善作業

- ・担当指導員(コーチ)に求められる姿勢の明文化
- ・教室のプログラム内容(指導のポイント・練習内容を考える際の注意点など)の改善
- ・担当指導員の養成カリキュラムの構築
- ・上記内容をまとめた「インクルーシブ共泳教室(パラ水泳はじめて水泳教室)運営ガイドライン」を策定

③「パラ水泳 はじめて水泳教室」継続開催準備

- ・実施店舗および参加費など、有料教室としての開催概要の構築
- ・実施店舗における参加者受け入れ態勢の構築
- ・教室参加者への有料継続開催のご案内(お手紙・チラシの配布、担当指導員からのご案内)
- ・参加希望者の対応
- ・担当指導者(コーチ)の決定および指導者研修の実施

④ 有料教室の継続開催(2022年1月から開始)

《開催場所》 セントラルフィットネスクラブ千葉みなと(毎週日曜日13:00~14:00/14:00~15:00)

セントラルウェルネスクラブ長沼(毎週日曜日 15:00~16:00)

《参加人数》 長沼 10名 ※2023年2月現在(無料教室からの継続率83.3%)

千葉みなと 18名 ※うち稲毛海岸店からの移籍2名(無料教室からの継続率20.0%)

※稲毛海岸で開催していた無料教室を、近隣のセントラルフィットネスクラブ千葉みなと店の既存教室と合同開催とした。

(参考) 教室参加者への配布物(教室継続のご案内)

「はじめて水泳教室」参加者様および保護者の皆様へ

この度は、スポーツ庁 令和4年度 Sport in Life 推進プロジェクト「はじめて水泳教室」にご参加いただきありがとうございます。

全8回の短い期間ではございますが、お子様たちのがんばりと保護者の皆様のご協力により、ここまで無事に教室を開催することができました。ご多忙中にもかかわらず、当クラブへ足を運んでいただき、誠にありがとうございました。

今回の Sports in Life 事業は12月11日をもって終了となりますが、2023年1月からはセントラルスポーツの自主事業として教室を継続してまいります。これからも、水泳を通じて皆様の心身の健康づくりに貢献させていただきたく、ぜひ継続しての参加をご検討いただくと幸いです。

なお、2023年1月以降の参加を希望されるお客様は、参加を希望される店舗にてお申込みの手続きをお願い致します。詳細は、同封の募集チラシをご覧ください、その他、不明な点などがございましたら、当クラブスタッフまでお問合せください。

年の瀬も迫り何かとご多用のことと存じますが、体調を崩されませんようご注意ください。1月からも皆様にお会いできることを、楽しみにしております。

---お問い合わせ---

「0歳から一生涯の健康づくりに貢献する」

セントラルウェルネスクラブ長沼

店長 ○○ ○○

担当 ○○ ○○

TEL ○○○-○○○-○○○○

事業実施内容

(参考/本事業成果物)

『インクルーシブ共泳教室 運営ガイドライン』

令和4年度 Sport in Life 推進プロジェクト
 (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

障がいのある人も、ない人も、すべての人に水泳と健康を!

セントラルスポーツ・パラ水泳教室 (インクルーシブ共泳教室) 運営ガイドライン

● 「セントラルスポーツ・パラ水泳教室」 運営方針 ●

セントラルスポーツ・パラ水泳教室は、
 段階指導に基づいたスイミングスクールではなく、
 参加者・保護者・コーチが三位一体となって、
 障がいのある子どもたちが、長く(大人になっても)、
 楽しく水泳を続けられるように支援することを目指します。

運営方針チェック項目 (短期・中期・長期の視点)

短期 毎回の練習	中期 3か月~1年	長期 1年以上
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが笑顔で帰っているか? 保護者が笑顔で帰っているか? 	<ul style="list-style-type: none"> コーチや一緒に泳ぐ仲間と、良い人間関係が構築できているか? 水中での運動を前向きに楽しんでいるか? 保護者が積極的に教室に参加しているか? 	<ul style="list-style-type: none"> 水泳が好きになって、教室参加を楽しく継続しているか? 水中でできることが以前よりも増えているか? 大人になってからも水泳(スポーツ)を楽しんでいるか?

セントラルスポーツ・パラ水泳教室 (スクール形式) 開講の流れ

- 1 参加希望者へのご案内 (電話問合せ)**
 まずはお電話で基本的な内容のご案内、見学・体験のご案内を行い、ご来館日時のご予約をとりまします。体験時の持ち物などを健康の上で、体験当日の入庫・受付方法などをご説明します。
- 2 見学・体験**

基本情報のご案内	体験後のコミュニケーション
保護者様の役割について (お子様が安心して練習できるサポート) 曜日/時間 料金システム 練習場の場所とルール など	まずは「お子様は楽しんでもくれましたか?」と確認し、笑顔でコミュニケーションを取りましょう。 参加希望者には連絡事項(チラシ)をお渡しし、申込手続きについてご説明します。
- 3 参加申込**
 所定の「参加申込書(様式)」にご記入いただき参加手続きをしていただきます。
 教室練習日を確認し、必要な(水着・帽子・ゴーグル・タオル)や入館方法、水着貸借、更衣場の場所などをご案内していただきます。
- 4 初回来館**
 来館時はウェルカムな雰囲気でお迎えしましょう!
 水着に着替えたら、シャワーを浴びないでプールサイドにお越しいただきます。

保護者の方にお伝えすること	教室中もお子様にとどんどん声をかけてください。
<ul style="list-style-type: none"> 自分のお子様をしっかり見ていてください。 入水前にトイレを済ませてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室中もお子様にとどんどん声をかけてください。 自分のお子様をしっかり見ていてください。 入水前にトイレを済ませてください。

その他

- 参加者の出入は担当インストラクターが毎日必ず監視してください。
- スタッフは、より適切な支援を行うために、参加者の体験や気持ちの変化などに気を配りましょう!
- 些かなる行動や異動があった場合は、スタッフ同士で情報共有を行うよう心がけてください。

【重要】担当コーチの役割と心構え

担当コーチに求められる姿勢

セントラルスポーツ・パラ水泳教室は、従来の段階指導・進級システムをベースとしたスイミングスクール指導とは一線を画す水泳教室です。
 私たち(担当コーチ)は、「子どもたちを泳げるように指導する(導く)」という従来のスクール指導の考え方を捨てて、
 子どもたちに寄り添い、水中での運動を楽しく続けられるように、「1人1人にあった「支援」を行う」という姿勢が求められます。

練習内容を考える際の注意点

- 一般スクール以上に「1人1人を注ぎ深く見る」ことを心掛けましょう!
 ツーキッドがたくさん回れていることよりも、1人1人が楽しめているか?不安や不調を抱えていないか?を気をつけてください。
 ネガティブな感情や異動が見える場合は、担当コーチが迅速して個別に対応できるように気を配りましょう。
- インストラクターの「創意工夫」を大切にしよう!
 これをやってみよう! やったらいよいよじゃないか?こんな効果がでるんじゃないか?と思ったら、やってみて確認してください!
 ナイスチャレンジにはみんなが拍手!
- 時間をかけること、諦めずに続けること、根気よく接することが大切です!

保護者とのコミュニケーション

- ・ご自身のお子様を褒めて見守っていたらOK
- ・子どもたちに積極的に声をかけていただく(前向きな言葉を伝える)
- ・プールに入水している保護者に、徐々に「役割」を委ねていく(任せるとお断りする)
- ・保護者が笑顔でリラックスして参加しているかを確認する



令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト
 (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)
 【事業報告②:実施内容】

代表団体名: セントラルスポーツ株式会社

事業タイトル: 障害のある人もない人も、すべての人に水泳と健康を！
 『インクルーシブ“共泳”教室』



事業実施内容

(参考) 事業実施スケジュール

実施内容	2022年				2023年	
	8~9月	10月	11月	12月	1月	2月
水泳教室プログラム構築 (プログラム作成)	プログラム構築作業	インクルーシブ共泳教室 (はじめて水泳教室)開催	インクルーシブ共泳教室 (はじめて水泳教室)開催	インクルーシブ共泳教室 (はじめて水泳教室)開催 プログラム修正作業	プログラム修正作業	
水泳教室プログラム構築 (指導マニュアル作成)	指導者研修内容の検討	担当者研修の実施	指導マニュアル作成作業	指導マニュアル作成作業	指導マニュアル作成作業 教室運営ガイドライン編 纂	パラ水泳教室 開催店舗 合同ミーティング開催
教室運営準備 (開催準備)	実施店舗選定 開催日時など諸条件検討 指導者選抜	担当者研修の実施		継続開催(有料教室) 開催準備	パラ水泳教室 継続開催	パラ水泳教室 継続開催
教室運営準備 (参加者募集)	告知物の制作 参加者募集	参加者募集		継続開催のご案内 (有料教室の開催告知)	パラ水泳教室 参加者募集	
調査・効果検証	調査設計	調査実施 (教室初回参加時)	調査実施 (教室初回参加時)	調査実施 (教室最終日)	調査集計・分析	調査結果まとめ

令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト
(スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)
【事業報告③:広報展開(募集・事業周知)】

代表団体名: セントラルスポーツ株式会社

事業タイトル: 障害のある人もない人も、すべての人に水泳と健康を！
『インクルーシブ“共泳”教室』



広報展開(募集・事業周知)

本事業で実施した「パラ水泳はじめて水泳教室」の参加募集は、セントラルスポーツ株式会社と千葉市スポーツ協会(ちばしパラスポーツコンシェルジュ)が連携して実施した。

<実施手順>

- ①【セントラルスポーツ】パラ水泳はじめて水泳教室の告知チラシ(※右掲載)を作成
- ②【ちばしパラスポーツコンシェルジュ】千葉市内在住の知的障害児童・生徒(水泳実施希望者)をリスト化
- ③【ちばしパラスポーツコンシェルジュ】該当者に電話にて水泳教室開催のご案内(参加希望者に上記①を郵送)
- ④【ちばしパラスポーツコンシェルジュ】参加希望者をリスト化しセントラルスポーツに共有
- ⑤【セントラルスポーツ】参加希望者に参加要項の郵送
- ⑥【セントラルスポーツ】参加希望者に電話にて事業の概要説明(最終の参加意思確認の上で参加決定)
- ⑦【セントラルスポーツ】教室開催(初日は入り口前で電話掛けをしたスタッフがお出迎え)

本事業の実施に際しては、千葉市内在住かつ水泳教室の参加を希望される方の情報を有していたことから、所定の期間内で、一定数の参加者を募集することが可能となった。一方で、はじめて水泳教室に通うお子様や、これまで水泳教室に通った経験があるが継続に繋がらなかった等、何らかの不安を抱えている参加希望者が少なくなかった。そのため、担当者による電話での直接コミュニケーション(ご説明)と、丁寧な対応を心掛けることで、教室ご参加にあたっての不安解消を優先して準備を行った。

無料 体験料

パラ水泳 はじめて水泳 体験教室

スポーツ庁 令和4年度 Sport in Life推進プロジェクト (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

日程 **10/23・30, 11/6・13・20・27, 12/4・11**
各日曜日開催

時間 17:00~18:00 / 定員10名様

対象 知的障がい児童
※保護者同伴をお願いします。(入水、またはプールサイド見学)

場所 セントラルフィットネスクラブ 稲毛海岸店
千葉県千葉市美浜区高州3-23-2稲毛海岸ビル3F
【アクセス】JR京葉線 稲毛海岸駅 南口徒歩1分

持ち物 水着・帽子・ゴーグル・タオル
※水着はラッシュガード(着手着)もご利用いただけますが、動きにくくなります。
※水深32.5度、水深30.5度~31.5度に設定されています。

会場 **セントラルフィットネスクラブ 稲毛海岸店**

問合せ ☎ 03-5543-1858 セントラルスポーツ新規事業開発部 (担当:中山)
✉ shinki-zoom@central.co.jp

協力 **ちばしパラスポーツコンシェルジュ**
千葉ポートアリーナ3階(中央区船場)1-201 [開校日時]
火曜日~日曜日 9:00~17:00
※前日、年末年始を除く

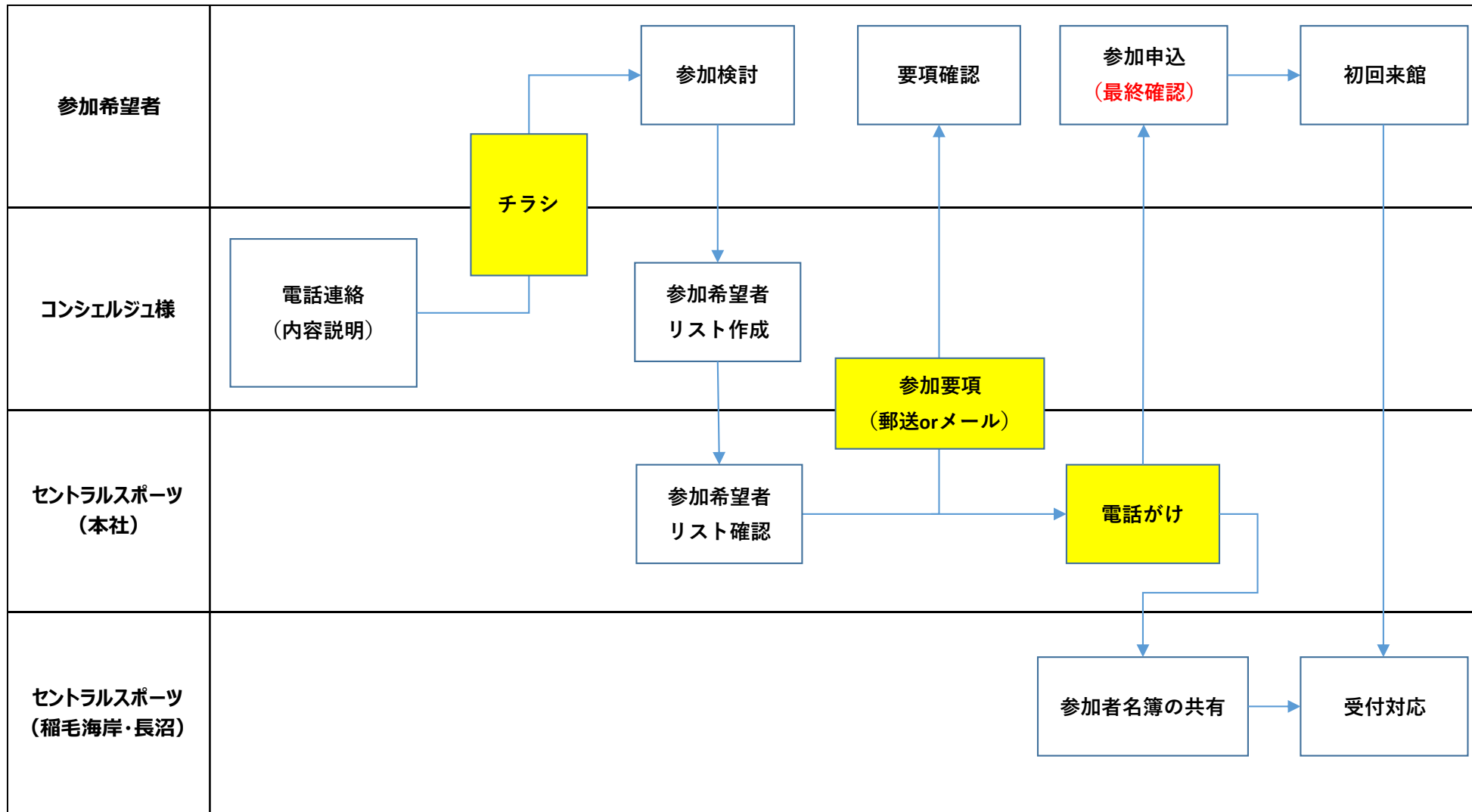
体験内容 「水泳が初めて」「泳ぐのが苦手」など、初心者向け内容です。

目標 水になれる 楽しくからだを動かす クロール10~25M

当クラブ

広報展開(募集・事業周知)

(参考) パラ水泳はじめて水泳教室 参加申込フロー



効果検証の方法と結果

○本事業の効果等に対する検証方法

障害のある幼児・児童、およびその保護者に対して、スポーツ実施意欲やスポーツ習慣、本事業に参加しての感想などを、教室実施前および第8回目(最終回)の教室開催時に、調査員による構造化された質問内容を、面接調査法を用いて実施した。

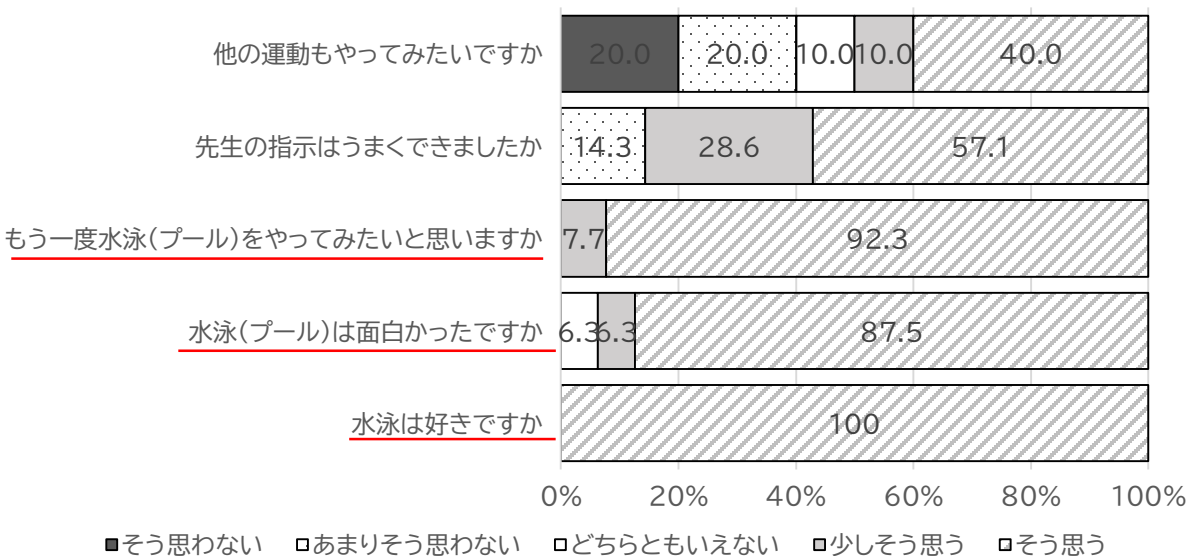
※知的・発達障害のある参加者であるため、参加者へ心理的負荷をかけないことを重視した。そのため面接調査法を用いても回答を得られない項目があった。調査員は、大学で特別支援教育を学ぶ学生が担当した。

1:教室参加者(障害のある幼児・児童)のスポーツ実施意欲の向上

… 教室参加後に、「水泳が好きになった」という参加者の割合が70%以上となり、達成感や自己肯定感が得られたことによるスポーツ実施意欲向上を図る。

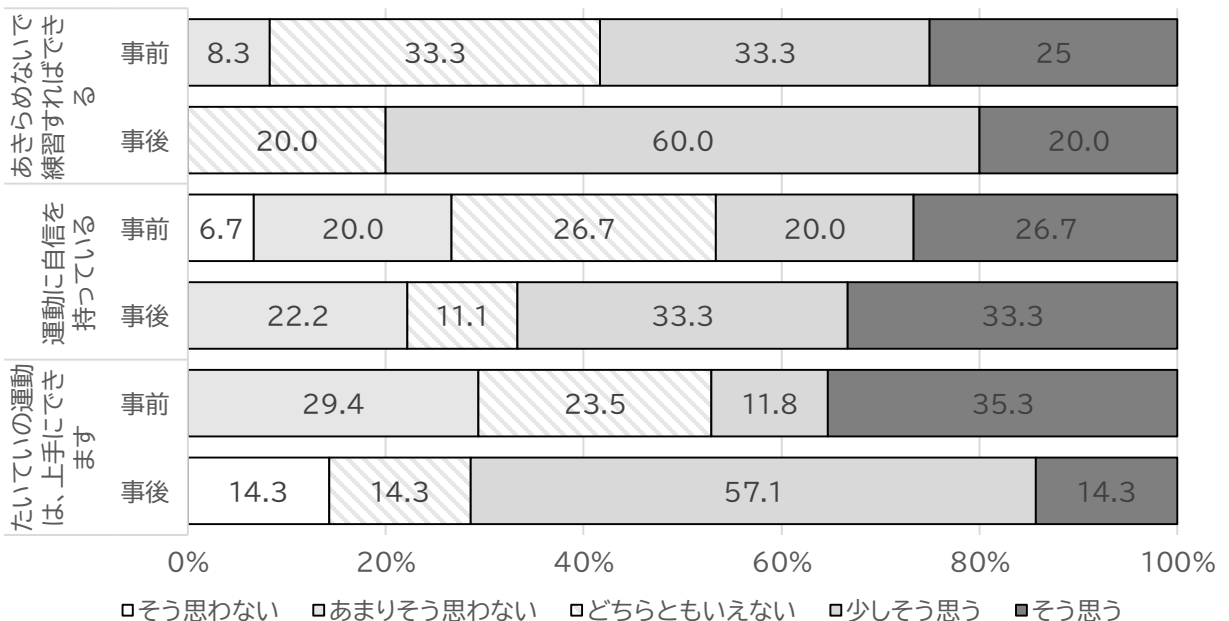
参加者の感想(5件法)

もう一度したいか、面白かったか、好きか、の項目でほぼ全ての参加者が「そう思う」と回答



運動有能感に関する前後の変化

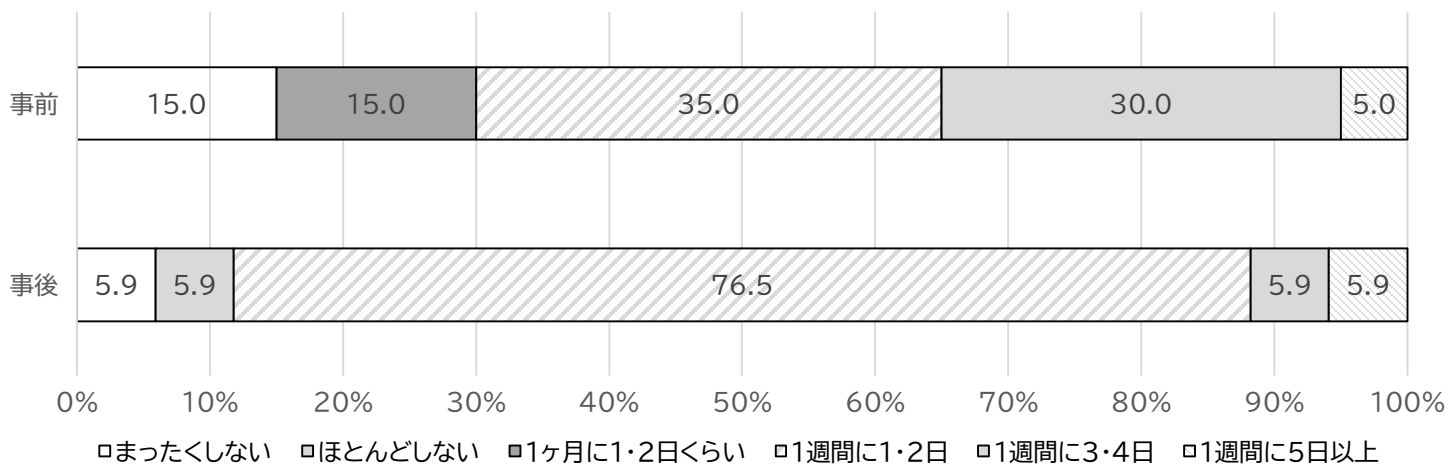
事前と事後で、ほとんどの項目で「少しそう思う」が増加し、運動に対する自信が涵養される傾向に。



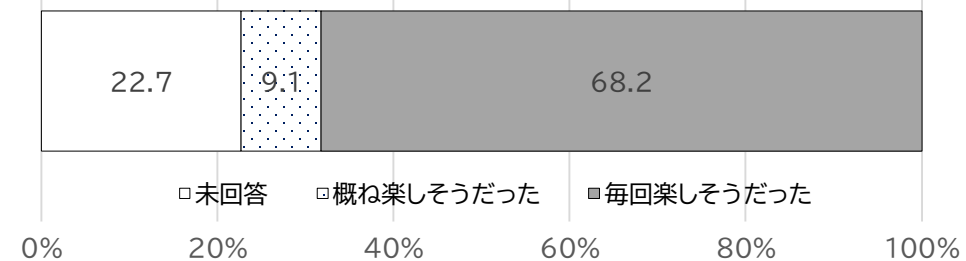
効果検証の方法と結果

2:教室参加者(障害のある幼児・児童)のスポーツ実施の習慣化 …… 教室参加後に、運動継続の実施意向の割合が70%以上に

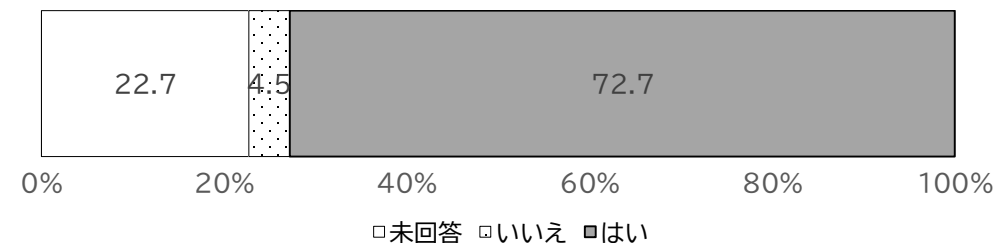
運動習慣の変化



水泳教室に参加中のお子さんの様子について



今後このような水泳教室やプログラムがあれば参加したいか？



令和4年度Sport in Life 推進プロジェクト (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業) 【事業報告④:効果検証・分析】

代表団体名: セントラルスポーツ株式会社

事業タイトル: 障害のある人もない人も、すべての人に水泳と健康を！
『インクルーシブ“共泳”教室』



効果検証の方法と結果

本人の感想

	具体例
楽しさ	プールが好き 全部楽しかった 頭まで水に入れた 水の中で遊ぶのが楽しかった 運動が苦手だが、プールは好きになった 泳ぐのが楽しかった けのびが得意 ちよつとだけ運動が好き
できたこと	ビート板 バタ足 顔つけるの怖くない 水に顔を浸けることが出来た ジャンプ バタ足ができた 足バタバタできた 鼻まで水につかることができた 今まで口まで水OK→鼻OK→今回目まで？

保護者の観察した変化

- 本人からやりたいと言ったことが初めてだったので、参加するたびに積極的に参加し、このまま継続したいと言っていた
- 学校でも落ち着いてきた。週一でも体を動かすことが大事だと思った
- 家では顔を洗うのも嫌がっていたが顔を洗うのを嫌がらなくなった、水の中で体を伸ばせるようになった
- 定期的にスイミングに参加できて、運動習慣が身につきました。意欲は毎回とてもありました
- 3回目くらいで安心したのか、イヤーマフを使用しないで入水できるようになった

保護者からの要望

- 保護者がプールサイドで見守るくらいで参加できれば
- 慣れてきたら子供だけで参加できたらいい
- レベルに合った教室が良い
- 徐々に泳力がついてくるような練習がうれしいです。
- 体を動かす、イベントがあれば参加したいです
- 顔が水に浸けられるようなプログラムがあれば嬉しいです

結果に基づく要因の分析(仮説検証)

- 本プロジェクトの対象者はいずれも知的障害・発達障害のある児童であった。
- 全8回実施された「パラ水泳はじめて水泳教室」では、初回こそ新しい環境に馴染めず、プログラムへの参加が難しい児童も見受けられたものの、回を重ねるにつれて場所(環境)にも慣れ、人(指導者)を受け入れて活動する様子が増えてきた。
- 結果にもあるように、教室参加者は「水泳が好きになった」という肯定的な回答はもちろんのこと、達成感や自己肯定感が得られたことにより他のスポーツへの実施意欲の向上にも広がりを見せていた。また、教室参加後の運動継続の実施意向についても割合が増えていた。水泳教室開催準備に際して、障害者当事者及び有識者からのアドバイスをもとにカリキュラムの検討を行った。ガイドラインに基づいた指導者研修を実施し、障害理解と指導法について理解を深めた。指導にあたっては肯定的なフィードバックを行い、上達度や参加状況等に応じてスモール・ステップでプログラムを展開した。泳ぐ距離やフォームの指導・評価といった、従来の水泳指導にとらわれず、遊びやゲームを取り入れ水中で様々な動作を体験させることを心掛けた。そうした障害特性への配慮、個に応じた支援等が参加意欲や自己肯定感の向上に何らかの影響を与えたと考えられる。
- 本プログラムは基本的には親子参加型の形態で実施した。保護者が支援者の一人となったことで、児童にとって安心感につながり、入水やプログラムの切り替えもスムーズに行うことができた。指導者が児童に対してどのような言葉かけや関わりをしているかについて、その場面を保護者が間近で見ること、家庭での取り組みに繋がることが期待できる。
- その一方で、保護者からは「子どもたちだけで参加できるプログラム」についてのニーズがあることが事後アンケートの記述にもみられた。
- 障害者自身が地域の資源を活用していくことは彼らの生活を豊かにすることはもちろんのこと、障害者の社会参加という点でも意義がある。今後は参加者の多様なニーズに応じたプログラムについて引き続き検討していきたい。